**１．緊急受け入れ対応状況**

**資料5-1**

■緊急対応件数（R4.4月～R5.3月）

|  |  |
| --- | --- |
| **障害種別** | **対応件数** |
| 精神障害 | ９件 |
| 知的障害 | １８件 |
| 身体障害 | ０件 |
| 身体・知的重複 | ４件 |
| 精神・知的重複 | ３件 |
| 身体・精神重複 | ０件 |
| 三障害重複 | １件 |
| 不明 | ２件 |
| **合計** | **３７件** |

■対応方法内訳

|  |  |
| --- | --- |
| **対応方法** | **対応件数** |
| 緊急受け入れ | １２件 |
| 受け入れ先が見つかるも利用に至らず | ７件 |
| 電話相談のみ | １８件 |
| 傾聴支援 | ０件 |
| **合計** | **３７件** |

**２．事前登録状況（累計）**

　■事前登録者数（R1.9月～R5.3月）

|  |  |
| --- | --- |
| **障害種別** | **登録者数** |
| 精神障害 | ４７人 |
| 知的障害 | ２１５人 |
| 身体障害 | １７人 |
| 身体・知的重複 | ５０人 |
| 精神・知的重複 | １１人 |
| 身体・精神重複 | ５人 |
| 三障害重複 | ２人 |
| **合計** | **３４７人** |

**３．グループホーム連絡協議会**

　■参加事業所数（Ｒ５.３月末時点）

・船橋市内５６事業所中、５３事業所

　■活動内容

・船橋市グループホーム連絡協議会参加事業者に毎月空き情報等収集し、

　一覧表を船橋市障害福祉課、基幹相談支援センターに提供している。

・関係機関や利用希望者からの問い合わせに対し、特性や希望等を聞き取った

　うえで、空き情報や問い合わせ先等の情報提供や利用支援を行う。

・グループホーム運営事業者からの問い合わせに対し、立ち上げ支援や運営

支援等の相談に応じている。

・事務局担当職員やコーディネーター、相談員が訪問の了承を得られた事業者のホームに訪問し、情報収集や意見交換等を行っている。令和４年４月から令和５年３月末までの間に１４事業所と面談し、意見交換を行っている。

　■事業所訪問での聞き取り内容（抜粋）

・ホーム数、定員、建物の形状、設備等基本情報。

・スタッフの勤務体制、夜間、休日の支援体制と研修体制。

・身体介助、服薬支援、通院支援、金銭管理、余暇支援等のサービス提供。

・ホームの特徴とセールスポイント等。

・現在入居中の利用者状況。

・あんしんねっと船橋からの緊急受け入れの打診に対応できるか。

■グループホーム連絡協議会　開催状況

・第１回：令和４年１２月２日（金）

参加事業所数３１事業所　参加者３９名

船橋市障害福祉課６名　基幹相談支援センターふらっと船橋１名

大久保学園３名

・開催内容

（１）コロナ禍での活動報告

（２）船橋市より施設整備状況について

（３）質疑応答

**４．地域生活支援拠点システム運営委員会開催状況**

■第１回　令和４年８月１日（月）

　（１）地域生活支援拠点事業実施報告

　（２）地域生活支援拠点システム運営評価

　（３）地域生活支援拠点システム　第１期終了に関する報告

　　　　・アンケートについて

・面的整備についての確認

・第２期に向けた運営員構成について

（４）困難事例ケースの情報共有

（５）地域生活支援拠点「あんしんねっと船橋」広報

　　　チラシ及びパンフレットの扱い等

（６）その他

　　　令和４年度第２回拠点運営委員会での議題確認

■第２回　令和４年１２月２６日（月）

（１）地域生活支援拠点事業実施報告

　（２）地域生活支援拠点システム　第２期に関する報告

　　　　・拠点コーディネーターの役割確認

・グループホーム連絡協議会のオブザーバー参加について

・面的整備についての考察

・次年度に向けた運営員構成について

・活動報告書の作成について

（３）困難事例ケースの情報共有

（４）地域生活支援拠点研修会について

（５）その他

　　　令和４年度第３回拠点運営委員会での議題確認

■第３回　令和５年３月２３日（木）

（１）地域生活支援拠点事業実施報告

　（２）地域生活支援拠点システム　第２期に関する報告

　　　　・２月２４日　拠点研修会の振り返り

・面的整備の具体的な取り組みについて

・令和５年度の運営員構成について

・活動報告書の今後の流れについて

・GH連絡協議会事務局の役割について

（３）困難事例ケースの情報共有

（４）その他

　　　令和５年度第１回拠点運営委員会での議題確認